

SMFGは三井住友銀行の戦略金融部門を中心として、企業再生ビジネスに積極的に取り組んでいます。

### 【前年度の成果】

戦略金融部門は、取引先企業の再建や事業再編等に集中的に取り組むため、平成14年12月に発足しました。以来、不良債権問題の早期解決および取引先企業の再生に積極的に取り組んでいます。

### 不良債権問題への取り組み状況

平成15年度における三井住友銀行の金融再生法に基づく開示債権の削減実績は約2兆5,000億円でしたが、その約8割に当たる2兆円を戦略金融部門で削減しています。

具体的には、破綻懸念先についてはオフバランス化手法を積極的に活用する一方、大口主力先については産業再生機構や私的整理ガイドライン等を活用することにより、不良債権の処理を加速し、企業再生への取り組みを強化しました。

### 企業再生への積極的な取り組み

平成15年度は、2つの企業再生ファンドの立ち上げを行いました(デイスターファンド、日本エンデバーファンド)。これは、再生の可能性のある取引先企業を対象に、投資銀行的手法も含めた各種手法により企業再生を実現するとともに、新たな収益機会の捕捉も目的としたものです。

平成15年11月には、ゴールドマン・サックス証券会社との業務提携の一環として、同社、大和証券SMBCプリンシパル・インベストメンツ(株)および日本政策投資銀行と共同でSMFG企業再生債権回収(株)を設立し、日本エンデバーファンドより企業再生業務を受託して本格的に企業再生業務を開始しました。今後は、各社が有する人材、スキル、ノウハウ、資金を最大限に活用しつつ、受託対象企業と協働して再建計画の早期実現に向け取り組んでいきます。

### 【今後の取り組み】

平成14年度から進めてきた、取引先企業の事業再生への取り組みを一層積極化させ、平成16年度中の不良債権問題の完全決着を図ります。

### 不良債権問題の完全決着

金融再生プログラムが掲げる不良債権半減目標を達成し、平成16年度中の不良債権問題の完全決着を目指します。

オフバランス化手法の活用とともに、取引先企業の事業再生への取り組みをさらに強化し、不良債権問題の決着、新BIS規制への対応を進めます。

また、SMFG企業再生債権回収(株)が本格的に稼動したことに伴い、日本エンデバーファンドと同社を活用した企業再生スキームを積極的に活用していきます。

産業再生機構については、今後も積極的な活用を継続していきます。

### 企業再生ビジネスのさらなる進展に向けて

企業再生業務の現場において常に的確な判断を行うためには、再生しようとする企業の実態把握とともに業界知識、産業構造の変化の方向性を感知する能力が求められます。

さらに、過剰債務に陥っている企業の事業構造や財務のリストラクチャリングを支援するために、M&Aをはじめとした投資銀行的手法の活用が有効的な場面も多く、企業再生に取り組む人材には、高いレベルの知識とビジネスセンスが求められます。

こうした能力は、健全な企業との取引においてもリストラクチャリングや事業の改革を支援し、資金ニーズを発掘する等、銀行の本来業務を推進していくにあたっても重要とされる能力です。

戦略金融部門が発足した狙いは、一義的には不良債権の処理を加速することですが、不良債権問題の完全決着という出口が見えてきた現在、この企業再生業務で培ったノウハウを、銀行全体のビジネスチャンスの発掘に活かしていくという発想を念頭に置き、企業再生に取り組んでいきたいと考えています。



お客さまへのアプローチ

企業再生ビジネス



SMFG 企業再生債権回収(株)